



「ふれあい」は
ホームページ
でもご覧いた
だけます



■■■ 3月 イベントカレンダー ■■■

30日 ケアブレンドカフェ（大代地区公民館 社会教育事業）

日 公民館休館日 3日(月)・10日(月)・17日(月)・21日(金)
24日(月)・31日(月)



レクリエーションスポーツを 実施しました

2月11日（火・祝）に、コミュニティ主催の「レクリエーションスポーツ」を開催しました。

多賀城市レクリエーションスポーツ協会の和泉会長他、2名のスタッフに講師をお願いし、総勢25名でニュースポーツを楽しみました。

ニュースポーツとは、20世紀以降に発案されたスポーツで、どなたでもできるスポーツです。卓球台を使った「卓球バレー」やボウリングのような「モルック」、カーリングとルールに近い「ペタンク」、他にも奥の穴の中に正方形のパックを投げる「コーンホール」、ひもでつながっている2個のボールを投げる「ラダーゲッター」など大人から子どもまで楽しみました。



けんぶんおく たがじょう見聞憶から

～防災・減災への指針 一人一話～

3月11日で14年目となる東日本大震災。この時期は追悼行事が開催されると共に、震災の経験を思い起こす機会となり、震災の出来事が話題にのぼります。

今回は、話題の一つとして、「たがじょう見聞憶(けんぶんおく)」を紹介します。

多賀城市では、「たがじょう見聞憶」をインターネットで公開しています。震災の記憶を風化させず、後世に残していくために、



「一人一話」

震災の記録を収集、保管し、体系的に整理したデジタルデータベースです。

その中に「防災・減災への指針 一人一話」というコンテンツがあります。市民をはじめ、企業、各種団体、支援して下さった方々等にインタビューを行ったものです。

大代の方々もインタビューを受けています。ここでは、震災時に消防団第6分団長をされていた伊藤勲さんへのインタビュー(2013年10月実施)を抜粋して紹介します。

3月11日の午後9時50分に精油所が爆発したので、その後は24時間体制で広報を続けました。ポンプ車の中などで、交替制で仮眠を取りながら巡回し、それを一週間ほど続けました。

食料品や消耗品などもポンプ車に載せて

避難所へ持って行きました。

災害時は総力戦だと婦人防火クラブの会長さんに常日頃から言っていたので、消防団や警察、消防署員だけでなく、いろいろな組織が連携することが必要だと思います。もちろん、人数や、装備の調達の数合いも違うので、それぞれで出来ることは限られています。しかし、お互いの責任感が功を奏して、連携できたように思います。



伊藤勲さん

この震災を忘れないで子々孫々に伝える事が大切です。それは言葉で

もいし、いろんな震災遺構でもいいと思います。日本列島のような地震国の中ではこういう事もあるのだということをお忘れないように、そして、それを次の世代、その次の世代へと伝えていくという事が、いくらでも被害を少なくする、人命を救うことのできる、一番コストのかからない大事な事ではないかと思っています。これから年を取っていくだろう私たちが、子どもたちとか孫たちに押しつけるのではなく、津波や地震で起こる様々な事を語り伝えていく事が一番必要です。

今、若い消防団員が減少しているからこそ、そういう気持ちを持って地域のためにいくらでも活躍して頂ける方が増えていけばいいなと思っています。

私は消防団、そして消防団員を誇りに思っています。

震災を振り返り、あの時何が起きたのか、今、防災・減災のためどんな対策をしているのか、これから何ができるのか、ぜひ周りの方々と話題にしていいただければと思います。

広報部では、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。

この2次元コードを読み取り、送信することができます。



新入学児童への学用品を プレゼントしました

2月7日(金)の東小学校入学説明会の時に、大代地区在住の新入学児童を対象に、色鉛筆、セロテープ、クレパスをプレゼントさせていただきました。ご入学される皆様、おめでとうございます。

令和6年度事業部事業を 終了しました

令和7年2月11日(火)に実施した「レクリエーションスポーツ」を持ちまして、令和6年度に事業部で予定していたすべての事業を終了しました。

今年度から、3つの部を一つに統合し「事業部」としてスタートし、新しい体制での事業運営となりましたが、地域の方のご協力をいただいで実施することが出来ました。

特に今年度からは、毎年8月20日に開催している大代地区の伝統行事である「慰霊祭」を

コミュニティ推進協議会で引継ぎつぐなど新しい事業も実施しました。

次年度も部員一同協力して事業実施をしてまいります。



令和6年8月20日 慰霊祭



令和6年9月22日 秋まつり



令和6年10月24日 グラウンドゴルフ

大代地区公民館講座報告

2月16日(日)、大代地区公民館にて毎年恒例の「親子料理教室」を開催し、(ピンクのエプロンでおなじみ)大代食改さんから3名の方がお手伝いとして参加してくれました。今回はハウス食品の方を講師に迎え、スパイスについて学び、「スリランカ風カレー」をみんなで作りました。食改さんは子ども達を見守り、次の食材の準備や洗い物をする等、参加者のサポートをしてくれたおかげで、料理教室は大きな問題もなくスムーズに終わることができました。今回は公民館事業のサポートとして参加していますが、大代食改の料理教室も開催されています。興味がある方は食改さんの料理教室にもご参加ください。



2月19日(水)には、高齢者大学「山茶花大学」の後期5回目の講座を行いました。

今回が前期、後期合わせて10回目の最終講座。講師は、地元の恵愛ホームにお願いし、高齢者の方が入所する施設の種類などを学んだほか、体操、算数や間違い探しなどの脳トレも行いました。



紹介した2つの講座以外にも地域の方々の御協力があり、講座を実施しています。今年度もたくさんの地域の皆様のお力添えをいただきました。ありがとうございます。

次号投稿締切

3月15日(土)

発行：大代地区コミュニティ推進協議会 広報部
事務局：大代地区公民館

TEL：022-364-8442 FAX：022-364-8453